

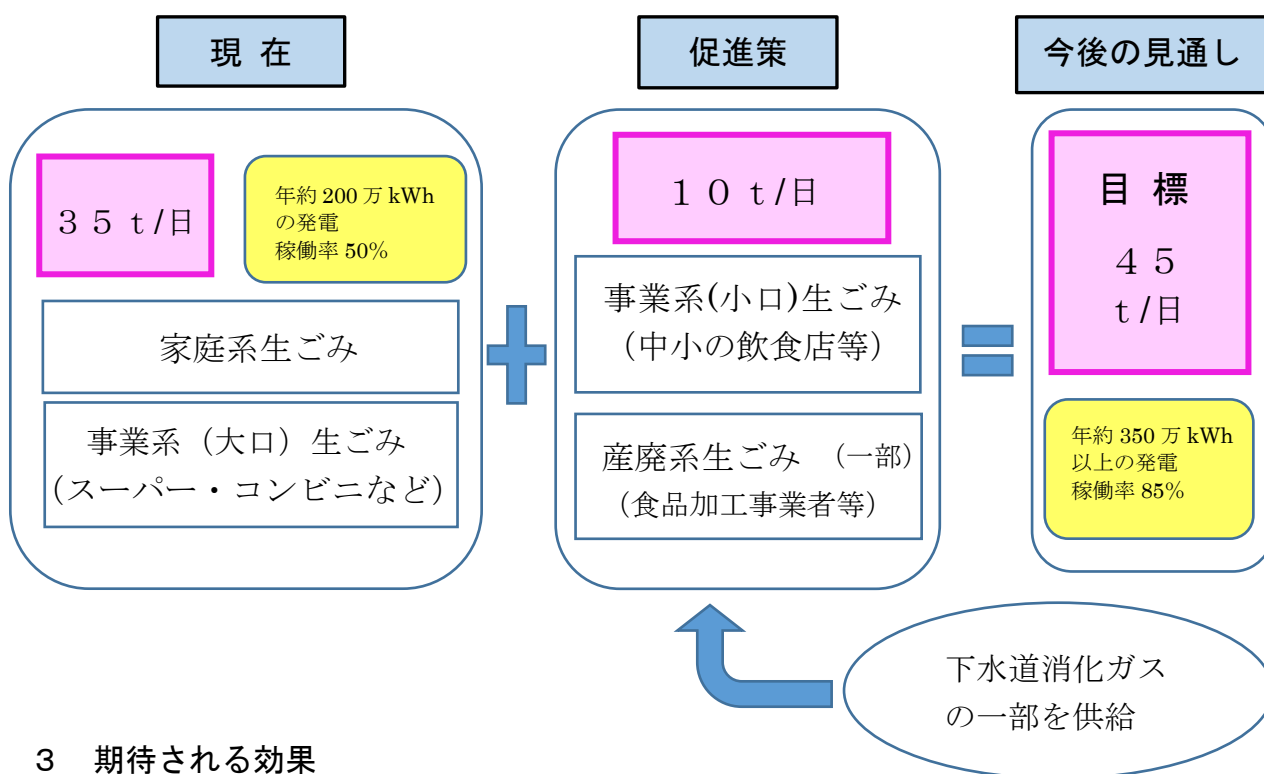
生ごみバイオガス発電センターの有効活用について

1 現状と課題

平成 25 年 7 月に稼働を開始した生ごみバイオガス発電センターは、生ごみを処理し、メタン発酵させることで発生するバイオガスを発電に利用する施設です。現在、1 日約 35t の生ごみを処理していますが、最大 65t 処理することが可能です。また、令和 2 年度には約 200 万 kWh を発電し、約 500 トンの二酸化炭素を削減しています。

このような状況の中、脱炭素社会の実現に向けた機運の高まりと、ごみの減量とリサイクルによる地域資源の循環を促進するため、来年度から生ごみの受入れを増やし、更なる資源化に取り組むたいと考えています。

2 生ごみの受入れ方針



3 期待される効果

- ・生ごみバイオガス化(再資源化)の促進
- ・資源の有効活用と市内循環システムの構築
- ・ごみの分別についての意識啓発

4 今後のスケジュール

- ・令和 4 年度に必要な条例改正を行い、事業者を公募する。
- ・隣接する中央浄化センターの下水道消化ガスを受け入れ発電に活用